

※受付番号	
-------	--

被災宅地危険度判定士養成講習会 受 講 申 込 書

長野県知事 殿

わたくしは、被災宅地危険度判定制度に協力したいので、下記のとおり、被災宅地危険度判定士養成講習会の受講を申し込みます。

1 受講を希望する講習会 (詳細は開催要領を参照)

第 _____ 回講習会

日 時 : 平成 _____ 年 _____ 月 _____ 日 ()

2 受講者情報

ふりがな		大正 昭和 平成
氏 名		_____ 年 月 日生
居住地	〒 _____	TEL ()
勤 務 先	名 称	
	所在地	〒 _____
		TEL ()

被災宅地危険度判定士として登録を希望する方は、以下のいずれかの欄に記号又は○印を記入してください。

判定士資格要件

- | | | | |
|-----------------|-------|--------------------------|----------------------|
| 1 宅地造成等の技術者該当 | | <input type="checkbox"/> | (資格要件別表の該当記号(ア～ケ)記入) |
| 2 地方公共団体の技術職員該当 | | <input type="checkbox"/> | |

区分

- | | | | |
|------|-------|--------------------------|--|
| 1 新規 | | <input type="checkbox"/> | |
| 2 更新 | | <input type="checkbox"/> | |

申込み様式第1号裏面

「被災宅地危険度判定士養成講習会受講申込書」記入上の注意

- 1 「受付番号」欄以外の全ての欄に記入してください。
- 2 被災宅地危険度判定士として登録を受けようとする方は、この講習会受講後に被災宅地危険度判定士登録申請書一式を提出する必要があります。
認定登録に関してご不明な点は、長野県建設部都市。まちづくり課都市計画係にお問い合わせください。
- 3 各欄の記入手順
 - (1) 「氏名」欄には、運転免許証等の公的な証明書で確認することができるあなたの氏名を楷書で判読できるように記入し、よみがなを付けてください。生年月日は、‘大正、昭和、平成’のうち該当するものを○で囲んで記入してください。
 - (2) 「居住地」欄には、住民登録等の有無に関係なく、現在あなたが日常生活の本拠としている住所(通常、生活の場としている、連絡のとることができる所)を記入してください。「電話番号」は、最も確実に連絡がとれる番号を記入してください。携帯電話等はなるべく避けるようお願いいたします。
 - (3) 「勤務先」欄には、現在あなたが勤務している会社等の名称、所属部局課名と、その所在地を記入してください。「電話番号」は、「居住地」欄と同様に連絡が最も確実にとれる番号を記入してください。
また、各種協会会員の方は、「勤務先」欄に勤務先と所属協会名を記載してください。
 - (4) 「判定士資格要件」は、被災宅地危険度判定士として登録を受けようとする方のみ、あなたの宅地判定士となれる資格に該当する欄を記入してください。
地方公共団体の職員及び職員であった方で、職員として土木、建築又は宅地造成に関する技術に関して3年以上の実務経験を有する者は、2番に○印を記入してください。
 - (5) 「区分」は、被災宅地危険度判定士として登録を受けようとする方のみ、該当する欄を記入してください。